

藤本一馬 guitar

福盛進也 drums
from München

+ special guest 青柳拓次 guitar, vocal
Little Creatures

2019 06月15日(土)

開場 19:30

開演 20:00~

(2ステージ 入替なし 途中入場可) (1drink=600円~)

MC 3500円 + 2drinks order

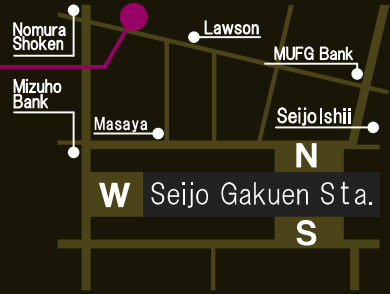
CAFE BEULMANS

03-3484-0047

info.cafebeulmans@gmail.com

東京都世田谷区成城6-16-5-2F

メールでのご予約の場合、
必ず当日ご連絡がとれる電話番号を
ご記載ください。



藤本一馬

ギタリスト、コンポーザー。ミュージシャンの父親の影響で独学でギターを弾き始める。1998年ヴォーカルのナガシマトモコとorange pekoeを結成。2002年1stアルバム「Organic Plastic Music」が35万枚のセールスを超え、その後も国内はもとよりアジア各国や北米でのCDリリース、ライブ公演など幅広い支持を獲得。2010年よりインストメンタル音楽を中心としたソロ名義でのライブ活動を開始。2011年1stアルバム「SUN DANCE」をリリース。岡部洋一と工藤精を迎えたトリオでのパフォーマンスが話題となる。その後もカルロス・アギーレやアンドレ・メマリー等をフィーチャーした「Dialogues」、《My Native Land》、また伊藤志宏とのデュオ作品「Wavenir」を発表。心を静める音楽集「Quiet Corner」で紹介される等、ジャズやクラシック音楽だけでなくワールドミュージックリスナーなど幅広い支持を得る。2016年の最新作「FLOW」では林正樹と西嶋徹とのトリオを軸にシルビア・イリオンド、ジョアナ・ケイロスを迎え録音。その他、中島ノブユキ「散りゆく花」の録音とライブツアー、小沼ようすけとのギターデュオ作品「Naja」のプロジェクトへ参加など、国内外の様々なアーティストと共演。雄大な自然からの着想、自己の内面を投影したオリジナル楽曲を中心に、その音楽性は高い評価を獲得している。



福盛進也

独特で繊細なシンバルワーク、そしてメロディック且つリズムミックなインタープレイで演奏を展開させるドイツで活躍中のドラマー。またダイナミクスの幅が広く詩情的なプレイを得意とする。1984年1月5日、大阪市阿倍野区生まれ。15歳でドラムを始め、17歳の時に芸術高校にて音楽を学ぶために単身で渡米。その後、ブルックヘブンカレッジ、テキサス大学アーリントン校を経て、ボストンのパークリー音楽大学を卒業。10年間のアメリカでの活動後、2013年に拠点をミュンヘンに移し欧州各国で活動を開始。繊細で巧みなドラム・プレイだけでなく、作曲家としても高い評価を得ている。2017年に自身のトリオで、ECMレーベルから日本人二人目となるリーダー・アルバム「For 2 Akis」を録音し、2018年2月に世界リリース。



青柳拓次

1971年、東京生まれ。父は古典楽器店を営み、母は祖父の代から続くクラシックのギタリスト。幼い頃よりクラシックや民族音楽に親しみ、ギター、ピアノ、パーカッション、民謡を学ぶ。1990年にLittle Creaturesでデビュー。以後、Double Famous、ソロの青柳拓次、KAMA AINA名義で多様な音楽性の作品を発表。ダンス、人形劇、演劇の舞台や映画の音楽を作曲し、パリの地下鉄、ミュンヘン、沖縄、シチリア、ハワイ島の音楽家と現地録音盤を制作。他にも、詩、絵本、旅行記の執筆や、旅の写真展を開催するなど、表現活動は多岐にわたる。2013年に沖縄ヤンバルからスタートさせた、声を重ね合わせる参加型のイベント「Circle Voice」は、田中トシノリ監督によるドキュメント映画の制作と呼応しながら国内外で開催。2018年、KAMA AINA + Hochzeitskapelleのアルバムが、ドイツ&日本でリリース。ギターと声のみで表現されるソロユニットTakujiを本格始動させた。